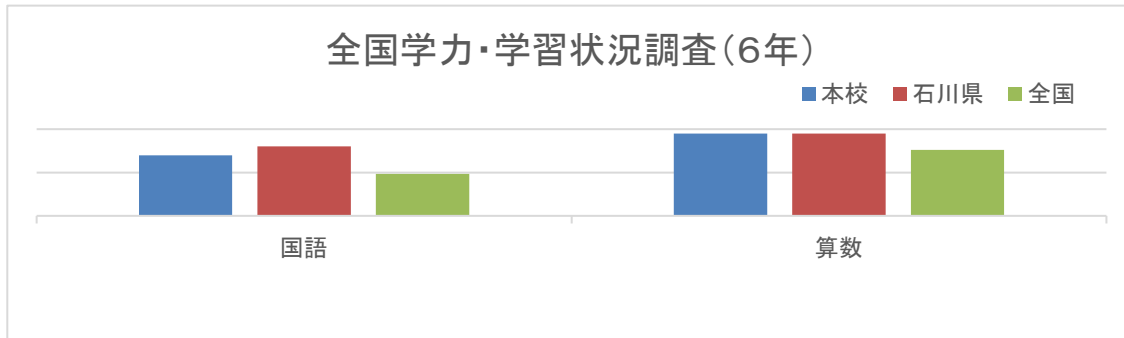
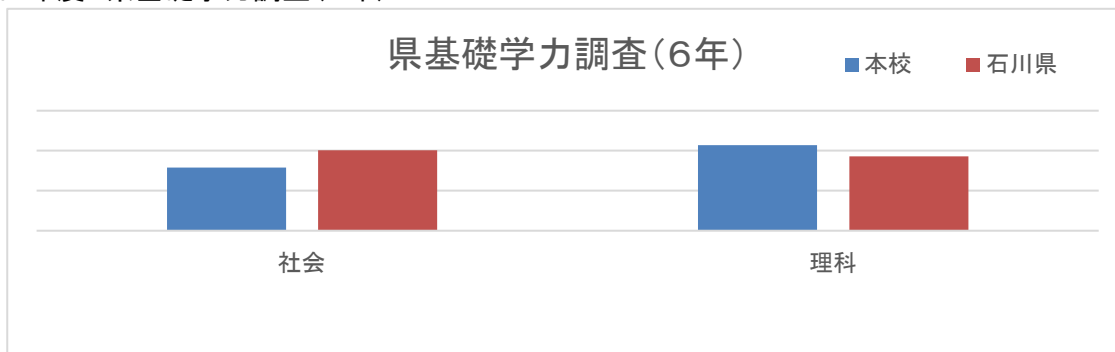


令和3年度 全国学力・学習状況調査(6年)結果



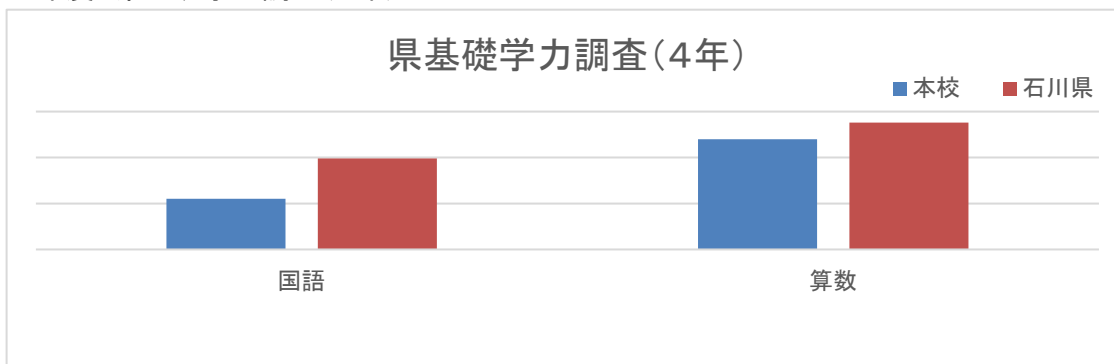
- 6年生の国語では、全国平均正答率を4.3%上回った。
- 目的を意識して要約する設問では、石川県の平均を10%以上上回った。
- ▲ 文章全体の構成を捉える設問では、県平均を下回った。大事な言葉に目を付けて要旨を正しく把握し、文章全体の構成を捉えることができるよう、授業や帯タイムで指導していく。
- 6年生の算数では全国平均正答率を3.8%上回った。
- 帯グラフで表わされた複数のデータを比較する設問で、県平均を10%以上上回った。
- ▲ 立式した式の意味を説明させる設問で、県平均を下回った。図を基に式の意味を説明させ、乗法計算・除法計算についての理解を深めるようにしていく。

令和3年度 県基礎学力調査(6年)



- ▲ 6年生の社会では、県平均正答率を4.3%下回った。
- 地図を活用した設問では、石川県の平均を10%以上上回った。
- ▲ 水道水の有効利用について、節水など自分たちができることを選択・判断する設問で大きく下回った。学習したことを基に、日常生活と結び付けて自分にできることを考えさせていく。
- 6年生の理科では、県平均正答率を2.8%上回った。
- 水の変化について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想し、表現する設問において大きく上回った。
- ▲ 湯気の状態についての設問で、大きく下回った。実験を通して湯気の状態を正しく考察する力をつけるとともに、「固体・液体・気体」についての理解を深める。また、日常生活と結び付けて「水の姿」を捉えさせていく。

令和3年度 県基礎学力調査(4年)



▲ 4年生の国語では、県平均正答率を4.4%下回った。

○ 説明的な文章の構造と内容の把握についての設問で、県平均を上回った。

▲ 一方、説明的文章の精査・解釈についての設問では、県平均を下回った。説明文の読み取りでは、重要な語や文を見つける経験を多くもたせていく。また、その経験を積み重ねていく。

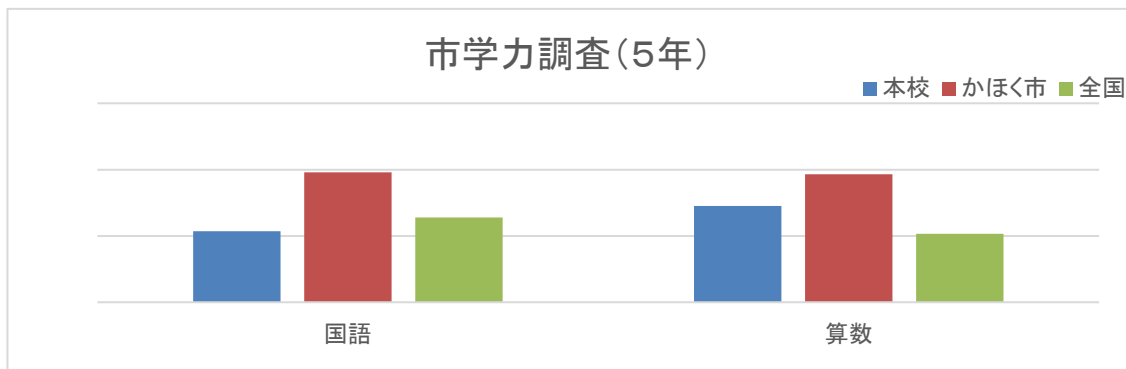
▲ 主語と述語の関係についての設問や修飾・被修飾の関係についての設問で、県平均を下回った。主語・述語・修飾語の意味を普段の授業の中で押さえることを意識し、指導していく。

▲ 4年生の算数では、県平均正答率を1.8%下回った。

○ 全体・容器・正味の重さの関係を読み取る設問や自分で見いだしたきまりを用いて解決の方法を説明する設問で、県平均を大きく上回った。

▲ 波及的繰り下がりのある減法計算や余りのない除法計算、時刻の読み取りにおいて、県平均を下回った。基礎的な計算については、帯タイムや家庭学習で取り組ませることで、確実な定着を図る。

令和3年度 市学力調査(5年)



▲ 5年生の国語では、全国平均正答率を2.1%下回った。

○ 漢字辞典の使い方の設問において、全国平均を大きく上回った。

▲ 条件作文において、全国平均を下回った。無回答率が高いため、問題を解く前に問題数を確認して、テスト全体の見通しをもって解答するよう指導していく。

○ 5年生の算数では、全国平均正答率を4.2%上回った。

○ 「もとにする量」を求める除法の文章問題を表した図形を選ぶ設問で、全国平均を上回った。

▲ 概数についての設問や数量関係を割合を使って説明する設問で、全国平均を下回った。数直線や図を言葉と結び付けて考えたり説明したりすることで理解を深めていく。

▲ 複数のグラフの読み取りや二次元表の読み取りができない児童がいる。授業の中で理解の定着を図るとともに他教科でも扱ったり、帯タイムで類似問題に取り組んだりしていく。